

東温高校 科目別シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	4	教科書名(発行所)	詳説日本史(山川出版社)		
学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)				指導内容や学習のねらい		評価の観点	
		観点1	観点2	観点3	観点4				
一 学 期	4	第6章 幕藩体制の確立				法・制度による支配秩序の形成という点から幕藩体制の特質を考察する。		○	◎
		3 幕藩体制の成立				武断政治から文治政治へ転換し、幕政を安定させたことについて考察する。		○	◎
		第7章 幕藩体制の展開				農業や手工業、商業などの発達により都市や農村が発展する様子を理解する。		○	◎
		1 幕政の安定				上方の町人を中心に栄えた元禄文化の特徴を理解する。		○	◎
	6	2 経済の発展				三代改革・田沼政治の特徴を理解する。		○	◎
		3 元禄文化				文化の中心が江戸に移り、新しい学問・思想が生まれたことを理解する。		○	◎
		第8章 幕藩体制の動揺				欧米列強の日本への接近と、幕府の対応を考察する。		○	◎
		1 幕政の改革				江戸を中心とした洒落や粋を好む町人文化であることを認識する。		○	◎
	7	2 宝暦・天明期の文化				開国後の混乱の中で幕府が滅亡していく過程を理解する。		○	◎
		3 幕府の衰退と近代への道				明治政府が行った諸改革について理解する。		○	◎
		4 化政文化				自由民権運動から憲法制定、日清戦争に至る過程を理解する。		○	◎
		第9章 近代国家の成立				ロシアとの対立を経て、日本が朝鮮や満州に進出していったことを確認する。		○	◎
8	1 開国と幕末の動乱				殖産興業・産業革命・資本主義の成立の流れを理解する。		○	◎	
	2 明治維新と富国強兵				近代化による新しい文化と日本由来の文化が混在した文化であることを認識する。		○	◎	
	3 立憲国家の成立と日清戦争				民衆の動きが政治に影響を与えるようになったことを考察する。		○	◎	
	4 日露戦争と国際関係				戦勝国となった日本に対する牽制の動きを認識する。		○	◎	
9	5 近代産業の発展				大衆が文化の担い手となったことを理解する。		○	◎	
	6 近代文化の発達				相次ぐ恐慌と、政府がとった対応について理解する。		○	◎	
	第10章 二つの世界大戦とアジア				軍部の台頭により政党政治が終わり、日本が国際的に孤立していったことを認識する。		○	◎	
	1 第一次世界大戦と日本				日本の侵略戦争が列強の反発を呼び、日本の軍国主義が敗北したことを理解する。		○	◎	
10	2 ワシントン体制				占領下での民主化政策や日本国憲法の成立について理解する。		○	◎	
	3 市民生活の変容と大衆文化				冷戦の開始がアメリカの対日占領政策に与えた影響を考察する。		○	◎	
	4 恐慌の時代				55年体制の成立、安保闘争について理解する。		○	◎	
	5 軍部の台頭				高度経済成長と、その蔭で顕在化した課題について考察する。		○	◎	
11	6 第二次世界大戦								
	第11章 占領下の日本								
	1 占領と改革								
	2 冷戦の開始と講和								
12	第12章 高度成長の時代								
	1 55年体制								
	2 経済復興から高度成長へ								
	第13章 激動する世界と日本								
三 学 期	1	1 経済大国への道				日本の経済成長が続き、「経済大国」と呼ばれるようになる過程を学習する。		○	◎
		2 冷戦の終結と日本社会の変容				冷戦終結を機に新たな国際秩序が形成され、その中で日本の果たす役割を考察する。		○	◎
2									
3									

	評価の観点	評価の規準	評価の方法
評 価 に つ い て	観点1: 関心・意欲・態度	過去の出来事やその時代の人々の営みに興味・関心をもって、主体的に学習に取り組んでいる。	授業態度、提出物の状況、発表の様子
	観点2: 思考・判断	歴史的事象から課題を見だし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	意見発表、演習プリント、定期考査
	観点3: 技能	図説での各種図絵、教科書に載っている各種史料、指導者の提示する歴史資料に強く興味を抱き、歴史的考察にうまく活用できる。	演習プリント、要点ノート
	観点4: 知識・理解	我が国の形成の歴史的過程と、生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	小テスト、定期考査

東温高校 科目別シラバス

教科	地理歴史	科目	地理B	単位数	3	教科書名(発行所)	新詳地理B(帝国書院)										
学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)				指導内容や学習のねらい				評価の観点							
										観点1	観点2	観点3	観点4				
一 学 期	4	5節 世界の工業				世界各地の工業の特色について、自然環境や他産業とのつながりをもとに考察させる。					○						
		6節 第3次産業				第1次産業・第2次産業のあり方をふまえ、現代社会において重要度を増す第3次産業について学ぶ。						○					
		7節 世界を結ぶ交通・通信										○					
		8節 現代世界の貿易と経済圏										○					
	6	1節 世界の人口				現代社会が抱える問題について、都市構造を元に考察させる。				○							
		2節 人口問題								○							
		3節 村落と都市								○							
												○					
	7	4節 都市・居住問題									○						
		8章 生活文化、民族・宗教								○							
		1節 世界の衣食住				世界各地の言語・宗教の特徴とその分布について理解し、その背景を理解する。				○							
		2節 民族と宗教											○				
3節 現代世界の国家										○							
二 学 期	9	4節 民族・領土問題				現代国際社会が抱える問題に関して文化的背景を元に考察する。				○							
		2章 現代世界の諸地域 1節 地域の考察方法										○					
		2節 東アジア								これまでの系統地理で学んだことをもとに、各地域の産業・文化生活を分析し、多様な社会のあり方について考えさせる。						○	◎
		3節 東南アジア														○	◎
	4節 南アジア						○	◎									
	10	5節 西アジアと中央アジア										○	◎				
		6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ										○	◎				
		7節 ヨーロッパ										○	◎				
		8節 ロシア										○	◎				
	11	9節 アンゴロアメリカ										○	◎				
		10節 ラテンアメリカ										○	◎				
		11節 オセアニア										○	◎				
										○	◎						
三 学 期	1	大学入試共通テスト対策				大学入試を念頭に、地理の学力向上を目指す。							○				
													○				
													○				
2																	
3																	

	評価の観点	評価の規準	評価の方法
評価について	観点1: 関心・意欲・態度	・さまざまな地理的な諸課題をもとに、現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	授業態度 発表内容 課題提出状況
	観点2: 思考・判断	現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを系統地理的、地誌的に捉える視点や方法をもとに、多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	論述問題 作業問題 作図問題 発表内容
	観点3: 技能	・地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して、現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	ノート作成 地図・資料の読解
	観点4: 知識・理解	・現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	小テスト 発表内容 学習プリント

東温高校 科目別シラバス

教科	地理歴史	科目	地理B	単位数	2	教科書名(発行所)	新編詳解地理B改訂版(二宮書店)					
学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)					指導内容や学習のねらい	評価の観点				
								観点1	観点2	観点3	観点4	
一 学 期	4	第3章 人口と村落・都市 第1節 人口 第2節 村落・都市					世界の人口分布や人口増加に関する動向を取り上げ、基礎的 基本的知識を習得させる。また、様々な規模の集落があることを理解させ、 村落・土地に関する基礎的・基本的知識を習得させる。					
	5	第4章 生活文化と民族・宗教 第1節 衣食住					世界の衣食住を取り上げ、それらの分布と特色を理解させる。 また、世界の言語と宗教の分布を理解させ、言語・宗教と社会との関連を考 察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。					
	6	第2節 言語と宗教 第3節 民族と国家										
	7	第Ⅲ編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分					これまでの系統地理で学んだことをもとに、各地域の産業・文化 生活を分析し、多様な社会のあり方について考察させる。					
	8	第1節 中国-発展する大国に注目する										
	9	第2節 韓国-近隣諸国との関連に着目する- 第3節 東南アジア-項目ごとに整理する-										
	10	第4節 インド-巨大な人口に着目する- 第5節 西アジア・中央アジア-項目ごとに整理する- 第6節 アフリカ-項目ごとに整理する- 第7節 EU-地域の統合に着目する-										
	11	第8節 ドイツとポーランド-国を比較する- 第9節 ロシア-体制転換後の社会と経済に着目する-										
	12	第10節 アメリカ-項目ごとに整理する- 第11節 ブラジル-地域開発と経済発展に着目する-										
	1	第12節 オーストラリアとカナダ -国を比較する- 第3章 現代世界と日本 まとめ						現代日本がかかえる地理的な課題の解決の方向性や将来の 国のあり方について展望させる。				
	2											
	3											

	評価の観点	評価の規準	評価の方法
評価について	観点1: 関心・意欲・態度	・近代日本の成立と変容に関心を持ち、現代社会と比較して自分たちが形成するこ れからの社会について考える意識を持つことができているか。	授業態度 提出物の状況 発表の様子
	観点2: 思考・判断	・諸外国との関係に着目し、国際社会の中で日本の近代国家どにのように影響を 与えたかを考察することができるか。	課題研究の成果
	観点3: 技能	・グラフや絵画資料を通して、経済の推移や他国、国民のそれぞれの事象に対する 認識を読み取ることができるか。	演習プリント
	観点4: 知識・理解	・近代国家の成立と歩み、現代社会を理解するために必要な知識を身につけているか。	定期考査

令和5年度 東温高等学校シラバス

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2	教科書名(発行所)	高等学校新地理総合(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)
----	------	----	------	-----	---	-----------	------------------------------

1 学習の到達目標

広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 評価の規準・評価の仕方

	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	地理に関する社会事象の基礎知識を身につけている。資料を適切に読み取ることができる。	資料を分析、解釈し、地理的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した地理的な事象を自分なりの言葉で表現することができる。	課題を提出できる。意欲的に学習に取り組もうとしている。現代社会との関わりを踏まえて学習内容を追究しようとしている。
評価の仕方	定期考査、課題の評価	定期考査、課題・授業ノートの評価	出席、授業態度、課題・授業ノートの提出と評価

3 学習計画及び評価の観点(観点1:知識・技能 観点2:思考力・表現力・判断力 観点3:主体的に学習に取り組む態度)

学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)	学習のねらい	評価の観点			
				観点1	観点2	観点3	
一 学 期	4	地図と地理情報システム 地球上の位置と時差	緯度・経度のしくみ、時差が生活に与える影響について多面的に考察させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		地図の役割と種類	さまざまな地図投影法について理解させる。 統計地図やGISのしくみについて理解させ、活用できるようにする。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	5	結びつきを深める現代世界 現代世界の国家と領域 グローバル化する世界	国境の種類、国家の領域や主権について理解させる。 貿易や交通・通信網の発達と変化について理解させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		6	生活文化の多様性と国際理解 世界の地形と人々の生活	生活の舞台となる地形と人々の生活との関わりについて理解させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
			7		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	二 学 期	8	世界の気候と人々の生活	気候が人々の生活に与える影響について考察させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
			世界の言語・宗教と人々の生活	言語・宗教と人々の生活の関わりについて理解させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
9		歴史的背景と人々の生活	生活文化に影響した歴史的背景について理解させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		10	世界の産業と人々の生活	諸産業が人々の生活に与える影響について理解させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
			11	地球的課題と国際協力 複雑に絡み合う地球的課題 地球環境問題	地球的課題の解決のために私たちにできることを考察させる。 さまざまな地球環境問題の背景を多面的に考察させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
12		資源エネルギー問題	資源・エネルギー問題の解決の取り組みを理解させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		人口問題	世界の人口問題について資料の読み取りから理解させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
三 学 期	1	食料問題 都市・居住問題	世界の食料問題について多面的・多角的に考察させる。 都市・居住問題について多面的・多角的に考察させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2	自然環境と防災 日本の自然環境 地震・津波と防災	日本の自然環境の特徴について理解させる。 震災の被害の特徴について理解させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
			3	火山災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え	火山災害の特徴について理解させる。 地域で異なる気象災害の特徴について理解させる。 災害の被害の軽減や被災地の復興の取り組みについて考察させる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

令和5年度 東温高等学校シラバス

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	3	教科書名(発行所)	新詳 地理探究 (帝国書院)
----	------	----	------	-----	---	-----------	----------------

1 学習の到達目標

第1章の目標	①地形・気候・生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性・傾向性や、地球環境問題の現状や要因・解決に向けた取り組みなどについて理解する。②地形・気候・生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性・傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。
第2章の目標	①資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。②資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性・傾向性や関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する
第3章の目標	①交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。

2 評価の規準・評価の仕方

	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	地理に関する社会事象の基礎知識を身につけている。資料を適切に読みとることができる	資料を分析、解釈し、地理的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した地理的な事象を自分なりの言葉で表現することができる。	課題を提出できる。意欲的に学習に取り組もうとしている。現代社会との関わりを踏まえて学習内容を追究しようとしている。
評価の仕方	定期考査、課題の評価	定期考査、課題・授業ノートの評価	資料を分析、解釈し、地理的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した地理的な事象を自分なりの言葉

3 学習計画及び評価の観点 (観点1: 知識・技能 観点2: 思考力・表現力・判断力 観点3: 主体的に学習に取り組む態度)

学期	月	指導計画 (単元名、指導項目その他)	学習のねらい	評価の観点		
				観点1	観点2	観点3
一学期	4	第1部 現代世界の系統地理的考察第1章 自然環境 1節 地形 2節 気候 3節 日本の自然環境 4節 地球環境問題	・地球表面には、地球規模の大地形や、河川が形成した小地形などのさまざまな形がみられる。それぞれの地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかを理解する。 ・気温や降水量・風などの気候要素は地域によって異なるため、地球上の生態系はさまざまである。気候の違いは、どのような要因で生まれるのだろうか。また、人々の生活にどのような影響を与えているかを理解する。 ・南北に細長い日本列島には、山地や平野、亜寒帯から亜熱帯にわたる気候など多様な自然環境がみられる。日本の自然環境にはどのような特徴があり、その特徴は自然災害とどのように関係しているかを理解する。 ・地球上では、さまざまな環境問題が発生している。地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかを理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
二学期	8	第2章 資源と産業 1節 農林水産業 2節 食料問題 3節 エネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 工業	・農林水産業は、自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた。農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるのかを理解する。 ・食料の分配は、世界全体をみると著しい偏りがある。飽食や飢餓がみられるのは、それぞれどのような地域だろうか。また、その原因は何だろうかを理解する。 ・世界のエネルギー・鉱産資源の分布には、大きな偏りがある。エネルギー・鉱産資源は、どのようにして生活や産業に利用され、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているのだろうかを理解する。 ・工業は、さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた。世界の工業はどのように発展し、現在にはどのような工業分野や地域が中心となり、どのようなことが行われているのだろうかを理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	10			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	12			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
三学期	1	6節 第3次産業 第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏	・経済が発展すると、物やサービスへの需要が高まるため、第3次産業が主力の産業となる。第3次産業の現状はどのようにになっているのだろうかを理解する。 ・交通と通信の発達によって、社会や経済は大きく変化した。なぜ、交通網や通信網の発達には、傾向や地域性・地域間格差が現れているのだろうかを理解する。 ・交通と通信の発達などをきっかけとして、日本では、訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みがみられる。観光にはどのような特徴や利点があり、どのような課題があるのだろうかを理解する。 ・私たちの日常生活は、貿易なしには成り立たない。世界の貿易は拡大を続けているが、地域性や地域間格差が現れてきている。それはなぜなのだろうかを理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和5年度 東温高等学校シラバス

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2	教科書名(発行所)	明解 歴史総合 (帝国書院)
----	------	----	------	-----	---	-----------	----------------

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 評価の規準・評価の仕方

	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	歴史的事象の基礎知識を身につけている。資料を適切に読み取ることができる。	資料を分析、解釈し、歴史的な見方・考え方ができる。理解した歴史的事象を自分なりの言葉で表現することができる。	課題を提出できる。意欲的に学習に取り組もうとしている。現代社会との関わりを踏まえて学習内容を追究しようとしている。
評価の仕方	定期考査、課題の評価	定期考査、課題・授業ノートの評価	出席、授業態度、課題・授業ノートの提出と評価

3 学習計画及び評価の観点 (観点1: 知識・技能 観点2: 思考力・表現力・判断力 観点3: 主体的に学習に取り組む態度)

学期	月	指導計画 (単元名、指導項目その他)	学習のねらい	評価の観点		
				観点1	観点2	観点3
一 学 期	4	1部 歴史の扉	身の回りの事象と世界の歴史の結びつきについて考察させる。 資料の重要性と適切な読み解き方について理解させる。 「大航海時代」から「世界の一体化」へと至る交易の内容について考察させる。 市民社会と国民国家の形成の経緯について資料を読み取り理解させる。 国民国家の形成が人類に与えた変化について考察させる。 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解させる。 日本をはじめとするアジア諸国の近代化の要因について考察させる。	○	◎	○
		1章 歴史と私たち		○	◎	○
	2章 歴史の特質と資料			◎	○	
	5	2部 近代化と私たち		◎	○	○
		1章 江戸時代の日本と結び付く世界		◎	○	○
		2章 欧米諸国における近代化		○	◎	○
	6	3章 近代化の進展と国民国家形成		◎	○	○
4章 アジア諸国の動揺と日本の開国		◎	○	○		
7	5章 近代化が進む日本と東アジア	◎	○	○		
二 学 期	8	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	帝国主義戦争としての第一次世界大戦の原因と結果について理解させる。 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現させる。 ファシズム体制の形成から終戦に至るまでの大衆の役割について理解させる。 国際連合について国際平和に対しての達成点と課題を考察させる。	○	◎	○
		1章 第一次世界大戦と日本の対応		○	◎	○
	9	2章 国際協調と大衆社会の広がり		○	◎	○
					◎	○
	10	3章 日本の行方と第二次世界大戦		◎	○	○
					◎	○
	11	4章 再出発する世界と日本		◎	○	○
			○	◎	○	
三 学 期	1	4部 グローバル化と私たち	冷戦下の緊張と緩和の経緯と脱植民地化を目指す動きについて資料を読み取り理解させる。 各国の選択を比較し、東アジアの成長の意義について考察させる。 グローバル化の進展が現代社会に与えた影響と課題について追究させる。	○	◎	○
		1章 冷戦で揺れる世界と日本			◎	○
	2	2章 多極化する世界			◎	○
					◎	○
	3	3章 グローバル化のなかの世界と日本			◎	○
					◎	○
					◎	○

令和5年度 東温高等学校シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	3	教科書名(発行所)	詳説 日本史(山川出版社)
----	------	----	-------	-----	---	-----------	---------------

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質能力を育成する。

2 評価の規準・評価の仕方

	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	日本史に関する社会事象の基礎知識を身につけている。史料を適切に読みとることができる	史料を分析、解釈し、歴史的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した歴史的な事象を表現することができる。	課題を提出できる。意欲的に学習に取り組もうとしている。現代社会との関わりを踏まえて学習内容を追究しようとしている。
評価の仕方	定期考査、課題の評価	定期考査、課題・授業ノートの評価	資料を分析、解釈し、地理的な他面的・多角的な見方・考え方ができる。理解した歴史的な事象を自分なりの言葉

3 学習計画及び評価の観点（観点1：知識・技能 観点2：思考力・表現力・判断力 観点3：主体的に学習に取り組む態度）

学期	月	指導計画（単元名、指導項目その他）	学習のねらい	評価の観点		
				観点1	観点2	観点3
一 学 期	4	第I部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの	日本列島の自然環境はどのように変化し、人々の生活や文化にどのような影響を与えたのだろうか。 ヤマト政権と古墳にはどのような関係があるのだろうか。 なぜ、日本的な政治の在り方が生まれてくるのだろうか。 摂政・関白という新しい地位が生まれ、やがて国風文化が開花した。こうした状況が生まれた輩家には何があるのだろうか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		第2章 古墳とヤマト政権		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5	第3章 律令国家の形成		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6	第4章 貴族政治の展開		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
二 学 期	8	第II部 中世 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	9		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	10		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
三 学 期	1	第III部 近世 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

令和5年度 東温高等学校シラバス

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2	教科書名(発行所)	明解 歴史総合 (帝国書院)
----	------	----	------	-----	---	-----------	----------------

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 評価の規準・評価の仕方

	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	歴史的事象の基礎知識を身につけている。資料を適切に読み取ることができる。	資料を分析、解釈し、歴史的な見方・考え方ができる。理解した歴史的事象を自分なりの言葉で表現することができる。	課題を提出できる。意欲的に学習に取り組もうとしている。現代社会との関わりを踏まえて学習内容を追究しようとしている。
評価の仕方	定期考査、課題の評価	定期考査、課題・授業ノートの評価	出席、授業態度、課題・授業ノートの提出と評価

3 学習計画及び評価の観点 (観点1: 知識・技能 観点2: 思考力・表現力・判断力 観点3: 主体的に学習に取り組む態度)

学期	月	指導計画 (単元名、指導項目その他)	学習のねらい	評価の観点		
				観点1	観点2	観点3
一 学 期	4	1部 歴史の扉	身の回りの事象と世界の歴史の結びつきについて考察させる。 資料の重要性と適切な読み解き方について理解させる。 「大航海時代」から「世界の一体化」へと至る交易の内容について考察させる。 市民社会と国民国家の形成の経緯について資料を読み取り理解させる。 国民国家の形成が人類に与えた変化について考察させる。 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解させる。 日本をはじめとするアジア諸国の近代化の要因について考察させる。	○	◎	○
		1章 歴史と私たち		○	◎	○
	2章 歴史の特質と資料			◎	○	
	5	2部 近代化と私たち		◎	○	○
		1章 江戸時代の日本と結び付く世界		◎	○	○
		2章 欧米諸国における近代化		○	◎	○
	6	3章 近代化の進展と国民国家形成		◎	○	○
4章 アジア諸国の動揺と日本の開国		◎	○	○		
7	5章 近代化が進む日本と東アジア	◎	○	○		
二 学 期	8	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	帝国主義戦争としての第一次世界大戦の原因と結果について理解させる。 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現させる。 ファシズム体制の形成から終戦に至るまでの大衆の役割について理解させる。 国際連合について国際平和に対する達成点と課題を考察させる。	○	◎	○
		1章 第一次世界大戦と日本の対応		○	◎	○
	9	2章 国際協調と大衆社会の広がり		○	◎	○
					◎	○
	10	3章 日本の行方と第二次世界大戦		◎	○	○
	11	4章 再出発する世界と日本		◎	○	○
					○	◎
12		○	◎	○		
三 学 期	1	4部 グローバル化と私たち	冷戦下の緊張と緩和の経緯と脱植民地化を目指す動きについて資料を読み取り理解させる。 各国の選択を比較し、東アジアの成長の意義について考察させる。 グローバル化の進展が現代社会に与えた影響と課題について追究させる。	○	◎	○
		1章 冷戦で揺れる世界と日本			◎	○
	2	2章 多極化する世界			◎	○
					◎	○
	3	3章 グローバル化のなかの世界と日本			◎	○